INFORMATION FROM POPOLA KASUKABE

POPOLA ぽぽらだより

TAKE FREE
ご自由にお取りください

モヤモヤを、ワクワクに。

「ぽぽらだより」は、春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）が発行するまちづくりや市民活動を広めるためのフリーペーパー（広報誌）です。ぽぽら春日部は、まちの課題に取り組み、市民の暮らしに新たな価値を生む公益的な活動を応援する施設です。地域のための活動をしている人、何かを始めたい人がつながっていく場所でもあります。皆さんのご利用をお待ちしています。

発行元　春日部市市民活動センター
（指定管理者：㈱コンベンションリンケージ）
年４回発行

2026 秋号
vol.60

小さな種から生まれた活動が
またひとつ春日部に広がった



市民活動団体紹介
自治会活動を考える
ユースセンターの取り組み
貸事務所の活用
ぽぽらフェスティバル 2026
ケアラーモヤモヤカフェ

表紙：豊春会 かすかべ夢の森公園（撮影協力：粕壁写真クラブ）

本誌に関するご質問・お問い合わせはこちらから
048-731-3550
popola@kasukabehall.jp

ほうこく　自治会　研修

自治会との関わり方を考えよう

現役世代の声を聞こう

10月2日、ぽぽら春日部で20～50代の現役世代を対象に「現役世代と考えるこれからの自治会」ワークショップを開催しました。自治会の担い手不足や加入率低下が課題となる中、まずは現役世代が自治会をどう見ているのか、その率直な声を聞くことからスタート。自治会のイメージや普段関わっているコミュニティとの違い、「どうだったら今より関わりやすいか」などをテーマに、各テーブルで活発な意見交換が行われました。笑い声も交じる和やかな雰囲気の中、さまざまな意見が集まりました。11月5日にこれらの意見をもとに役員研修会が開催され、これからの自治会活動における現役世代との関わり方について考えました。







ほうこく　こども・若者　居場所づくり

こども・若者の居場所づくり

ユースセンター『たけたけ』『トヨノコ』開催

夏休み期間中、武里市民センターで「たけたけ」を15日間、豊野市民センターで「トヨノコ」を4日間開催。昨年に引き続き、春日部市と共栄大学の連携授業にぽぽら春日部が参画し、産学官の取り組みとして実施しました。家庭でもない学校でもない「第三の居場所」で、家族でもない友達でもないユースワーカーと「ナナメの関係」を作るのがユースセンターの特徴です。参加したこどもたちは、思い思いに遊びや工作を楽しみ、ユースワーカーの大学生や地域の方々に見守られながら、学校の垣根を越えてのびのびと交流しました。









ぼしゅう　イベント　交流

ぽぽらフェスティバル2026

開催間近！ぽぽらフェスティバル2026



春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」は、本年12月に開所15周年を迎えます。これを記念し、12月5日（土）・6日（日）の2日間、「ぽぽらフェスティバル2026」を開催します。今年のメインキャッチフレーズは「だれかの『やってみたい』をみんなの『いいね』に」。館内各所での活動紹介展示や体験ブース、多彩なパフォーマンスステージのほか、実行委員会企画として2階交流スペースで「障がい者スポーツ体験コーナー」も開催。1階ホールでは「リヤカーゴコーナー」でこだわりの食や雑貨を楽しめます。同時開催の「ふれあいキューブフェスティバル」「健康フェア」とともに、市民と団体の笑顔あふれる交流の場を一緒に盛り上げましょう！

ぼしゅう

貸事務所見学会

開催中！



NPO・市民活動団体など、社会的な活動に取り組む非営利団体の皆さんがご利用いただける貸事務所です。見学のご予約はこちらから！

お花の休日

花を育て、まちに広がる活動の種









「子どもから大人まで、もっと気軽に花や自然に親しんでほしい。そんな思いで活動しているのが、お花の教室「お花の休日」を主宰する達葉（さとは）さんだ。子どものころから草花が好きだった達葉さんは、生け花の師範となり、ガーデニングが盛んな英国でも花を学んだ。2022年に故郷の春日部に戻り、花の楽しさを伝える活動を始めた。

活動の舞台の一つが、豊春会 かすかべ夢の森公園。公園で花壇づくりを任されたことをきっかけに、何も植わっていなかった場所を少しずつ整え、花々が育つ場所に。ともに活動する仲間を募ろうと、ぽぽら春日部にも市民活動団体として登録。夢の森公園では花壇の手入れに加え、育った植物を作品に生かすクラフト講座も開いている。9月末に開催した講座では、公園の植物を使って「森の魔女のほうき」づくりにチャレンジ。家族連れの参加者がそれぞれの作品づくりを楽しんだ。「子どもが喜ぶと親もうれしい。親が笑顔だと子どもも安心できる」と、達葉さんは当日を振り返る。今後は、花を育て、成長を見守り、作品づくりまで楽しむ「花育」にも取り組みたいという。講座をきっかけに、新たに活動に加わる仲間も現れた。教室や講座で出会った人たちに声をかけ、仲間を増やしていきたいそうだ。

「春日部の空は大きくてきれい。花と緑にあふれた美しいまちになってほしい」。花を楽しむ小さな体験が、まちのあちこちへ広がっていきそうだ。一つの花壇から生まれた活動の種が、まちへとゆっくり広がっている。

【団体名】お花の休日
【連絡先】@elmparkgarden2021

取材協力　鹿沼英雄さん／運営パートナー

小さな事務所からはじまる、大きな可能性

貸事務所から広がる『こども子育て☆まちかど相談室 ぽっけ』の挑戦



「まちかど相談室 ぽっけ」は、妊娠中の方や18歳までの子ども、その保護者が気軽に相談できる場所。子育ての悩みはもちろん、家族や友達のこと、日々のちょっとしたモヤモヤまで、相談員が一緒に考えてくれます。そんな場所を運営するNPO法人つきぐるみの山本桂子さんに貸事務所を借りた経緯や活用の実際、これからについて話をうかがいました。

「ここなら話せる」という安心感と子どもたちとの出会いを活動へ

「相談室を開くなら、まちなかで、気軽に立ち寄れる場所がいい」。そんな思いで場所を探していた私たちが出会ったのが、ぽぽら春日部の「貸事務所」でした。この場所で運営しているのが、子どもや保護者の声に耳を傾ける「まちかど相談室 ぽっけ」です。最初に事務所を見学したときは、「事務室と相談室を兼ねるには少し狭いかも」と感じました。それでも使い始めてみると、工夫次第で十分に活動でき、今では居心地のよい拠点になっています。

この場所の魅力は、部屋の中だけではありません。同フロアにはキッズルームや交流ミーティングスペースがあり、園児から中高生まで、普段からさまざまな子どもたちと顔を合わせる機会があります。何気ない会話から、その子の気持ちが見えてくることもあります。イベントを企画するときも、子どもたちの声がヒントになっています。そして、ちょっとした会話が次の一歩につながることも。交流ミーティングスペースで話した子が、後日ぽっけを訪ねてくれたことがありました。「ここなら安心して話せる」「相談してもいい人がいる」。そう感じてもらえる関係が、日々の出会いの中で少しずつ育っているのかもしれません。

活動を続けるには、安心して使える拠点があることも大切です。貸事務所の家賃は光熱費などを含めて月額16,000円。初期費用を抑えながら場所を確保できるのは、ボランティアから活動を始めたつきぐるみにとって心強いことでした。日々の取り組みを積み重ねて実績をつくり、行政からの委託事業や補助金の活用など、活動の次の段階を考える土台にもなっています。もちろん、使ってみて感じる課題もあります。備品を置く場所がもっとあれば、もう少し広ければ。利用期間に上限があることも、将来を考えるうえでは気になるところです。それでも、この場所だからこそ生まれた子どもたちや保護者のみなさんとの出会いや交流は、活動の大きな支えになっています。

小さな部屋を借りることが、地域との接点を増やし、新しい挑戦を後押しする。ぽっけの歩みは、貸事務所が単なる仕事場ではなく、活動を育てる場所にもなることを教えてくれます。ここから、また新しい活動が生まれることを楽しみにしています。

ほうこく　交流　介護

介護のあれこれ、話してみたらみんなのモヤモヤ

ケアラーモヤモヤカフェ




9 月 12 日、ぽぽら春日部で「ケアラーモヤモヤカフェ」を開催しました。「介護が必要になったら、どこに相談し、何から始めたらいいの？」そんな身近な疑問から、参加者同士の会話が発展。突然始まる介護への戸惑いや、難しい制度、在宅か施設かの選択など、話してみると次々に出てくるもやもやとした思い。介護する家族が孤立しないことや、本人らしい暮らしを大切にすることなど、さまざまな思いを共有する時間となりました。専門家だけではなく、介護経験がある方もない方も気軽におしゃべりしながら学び合える場を目指していきます。次回の開催をお楽しみに！

ほうこく　セミナー　情報発信

令和 8 年度春日部市ふれあい大学

講座「市民活動って、何？」



9 月 15 日・16 日の 2 日間、春日部市役所にて令和 8 年度春日部市ふれあい大学の 1 コマで市民活動講座が開催されました。
当日は、ぽぽら春日部のアドバイザーが講師を務め、身近な事例を交えながら「市民活動とは何か」を分かりやすく紹介。「好きなこと・興味のあること・できること」を書き出し、それが人や地域とどのようにつながるかをグループで話し合いました。会場では笑顔や会話が広がり、参加者同士でさまざまなアイデアを交換。「自分の楽しみが、誰かに喜ばれることもある」という視点から、市民活動を楽しく身近に考える時間となりました。

おしらせ

ぽぽらの共催イベント

社会のこと、春日部のことを知るのはココ！

ぽぽら春日部では、登録団体の皆さんと一緒に、毎月さまざまなテーマでセミナーやイベント、展示等を開催しています。
関心のあるテーマがあればぜひお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしています。
詳しくは右記の QR コードからご確認ください。

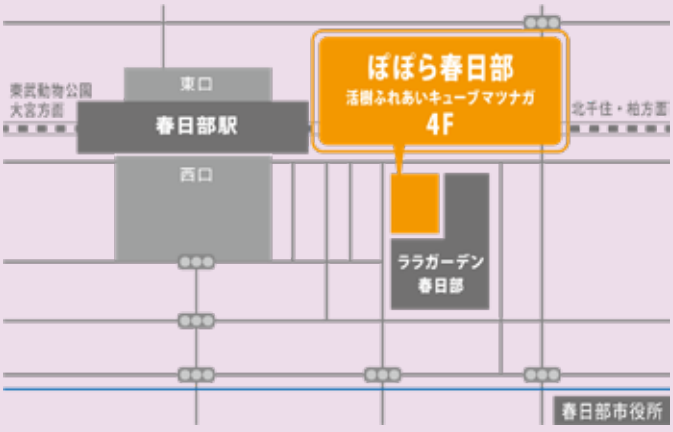
おしらせ

新規登録団体情報 NEW

新規に登録された団体をご紹介します。
団体の紹介や交流を希望される方はセンター窓口にお問い合わせください。

活動内容はこちらから

- ●親と子のサポートオフィス　●岩槻民主商工会春日部支部
- ● Kasukabe-JCOB ～わっしょい～　●トリガーゲームズ
- ●いくえの輪　●Ａ－Ａ研究会　●特定非営利活動法人まさゆき
- ●サクラウーマンプロジェクト　●初心者ボードゲーム交流会
- ●埼玉県高次脳機能障害者東部地域支援センター　（順不同）



※東武スカイツリーライン / アーバンパークライン「春日部駅」下車。西口徒歩 5 分。
※駐車場（有料）は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

イベント・セミナーのお申し込み・お問い合わせはこちらから
048-731-3550　popola@kasukabehall.jp

春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）
年中無休（年末年始を除く）　9:00 ～ 21:30
〒 344-8578　埼玉県春日部市南 1-1-7 活樹ふれあいキューブ　マツナガ 4 階

HP

※当施設の会議室を利用するには、「団体登録」が必要となります。詳しくは HP をご覧いただくか、上記窓口にお問合わせください。
※交流・ミーティングスペース、キッズスペースなどは、団体登録なしにどなたでもご自由にご利用いただけます。